

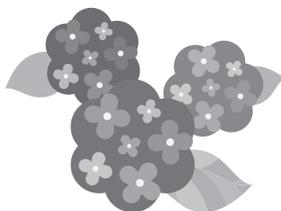
### 3月定例会で審議した議案の結果

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
		清流 9人	サン 3人	共産 3人	公明 2人	無会派 清野	金崎
専決処分	一般会計補正予算(第7回)	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算(第8回)	○	○	○	○	○	○
市道	市道の路線変更	○	○	○	○	○	○
条例	重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	バイシクルモトクロス場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	市立学童保育室条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○
	令和2年度補正予算	一般会計補正予算(第9回)	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第10回)	○	○	○	○	○	○	
国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	○	○	○	○	○	○	
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	○	○	○	○	○	○	
農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	
戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	
市立病院事業会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	
下水道事業会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否					
		清流 9人	サン 3人	共産 3人	公明 2人	無会派 清野	金崎
一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	×
国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
その他	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○
人事案件	教育長の任命(前野浩二氏)	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命(大島隆芳氏)	○	○	○	○	○	○
	監査委員の選任(阪本昇寿氏)	○	○	○	○	○	○
	公平委員会委員の選任(米持孝之氏)	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦(横田好一氏)	同意	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	75歳以上の医療費窓口負担2割化に反対する意見書	×	×	○	×	×	○
	生活保護申請における扶養照会の見直しを求める意見書	×	×	○	×	○	○
議案	秩父市におけるパートナーシップ認証制度(ファミリーシップ認証含む)および性的少数者に関する諸問題への取組みに関する請願	○	×	○	○	○	○
	国に対し「当面の間消費税をゼロにする意見書」の提出を求める請願	×	×	○	×	×	○

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議団  
公明：公明党 無会派：会派に属さない議員 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対



みやま え  
宮前 昌美 議員 62歳



みやがわ ひろし  
宮川 浩司 議員 53歳

4月18日に秩父市議会議員補欠選挙が行われ、次の方々が当選されました。

### 議員の補欠選挙

### 総務委員会

3月定例会で付託された議案4件、請願2件について報告する。

◆専決処分 2年度一般会計補正予算(第7回)

◆専決処分 2年度一般会計補正予算(第8回)

○以上2件は承認

◆2年度一般会計補正予算(第9回)

○原案のとおり可決

◆3年度一般会計予算

問 ちちぶ夢創り基金繰入金5億9827万円の3年度に充当する事業の予定は。

答 4割が環境目的に指定、3割が使い道はお任せ、それ以外はいくつかの分野に分かれている。3年度は、環境分野に約2億6千万円、福祉分野に約1億2200万円、コロナ対策で約4400万円。

問 防犯灯を設置する際の基準は。

答 町会等の要望により設置。市道で隣の防犯灯までの距離が30メートル以上離れている必要がある。

問 企業版ふるさと納税は、具体的な寄付対象事業を示すのか。

答 市では、第2期秩父市総合戦略の事業全般を対象とし、特にソサエティ5・0の事業を考えている。ソサエティ5・0の仕組みとして、まず2分の1が国費で交付金として補填。残りの2分の1は、

最大20%が特別交付税で措置。残った30%にふるさと納税を充当してよい仕組みになっている。

意見 マイナンバー制度は、社会保障、税、災害対策のみに使用が認められているが、国は今後、健康保険証、運転免許証などへの機能拡大方針を各自治体に押しつけている。行政と住民をつなぐ窓口業務の削減と一体であり、適切な住民サービスを受けられなくなる危険性がある。マイナンバー制度の機能拡大などを盛り込んだ予算には賛成できない。

○挙手多数により可決

◆秩父市におけるパートナーシップ認証制度及び性的少数者に関する諸問題への取組に関する請願

○挙手多数により採択

◆当面の間消費税をゼロにする意見書の提出を求める請願

意見 請願事項がゼロと明白。ハードルが高い内容と感じる。国、県、世の中の動向を見ている中で賛成しかねる。

意見 税金の使い方、集め方に問題点があり富裕層、大企業等は減税し、その減税の穴埋めに庶民に増税している。コロナ禍で苦しい方の願いが込められていると思うため賛成する。

○挙手少数により不採択

### 文教福祉委員会

3月定例会で付託された議案17件について報告する。

◆専決処分 2年度一般会計補正予算(第7回)

◆専決処分 2年度一般会計補正予算(第8回)

○以上2件は承認

◆重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の一部改正

◆介護保険条例の一部改正

◆国民健康保険条例の一部改正

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

◆学童保育室条例の一部改正

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆2年度一般会計補正予算(第9回)

◆2年度国民健康保険特別会計補正予算(第4回)

◆2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)

◆2年度委市立病院事業会計補正予算(第3回)

○以上10件は原案のとおり可決

◆3年度一般会計予算

問 各種教育研究・研修事業に関して、2年度予算には計上されていなかった光熱水費の内容は。

答 荒川総合支所の教育相談室を下郷学童保育室へ移転する予定であり、それに伴って施設管理業務を教育研究所が担うこととなったため。

○挙手多数により可決

◆3年度国民健康保険特別会計予算

◆3年度後期高齢者医療特別会計予算

◆3年度介護保険特別会計予算

◆3年度市立病院事業会計予算

○以上4件は原案のとおり可決

### 用語解説

【ソサエティ5・0】

平成28年に内閣府が策定した「第5期科学技術基本計画」にて「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と定義された。

狩猟社会(ソサエティ1・0) 農工社会(ソサエティ2・0) 工業社会(ソサエティ3・0) 情報社会(ソサエティ4・0) に続く、新しい社会のこと。



# まちづくり委員会

3月定例会で付託された議案13件について報告する。

◆専決処分 2年度一般会計補正予算(第7回)

○承認

◆市道の路線変更(荒川上田野)

問 議案の訂正理由および地権者、地元町会からの同意は得られているのか。

答 現地を精査する中で、路線変更するにあたり、認定することと道路法第8条に基づく新規路線認定の基準との整合性を考慮する必要があること、また今後の道路整備の見込みが立たないことなどから議案訂正となった。このことについては、地権者および地元町会から同意を得ている。

◆バイシクルモトクロス場条例の一部改正

問 施設の利用者を見ると、BMXはまだまだ市民に浸透していない。BMX人口を増やすためにも、市民の使用料は無料にしてもよいのではないか。

答 市内、市外の区別なく、使用料を負担していただくことで、利用者のモチベーションを上げ、自分なりの技を磨いていくことも必要と考え、使用料を設定した。

◆2年度一般会計補正予算(第9回)

◆2年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3回)

◆2年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第3回)

◆2年度下水道事業会計補正予算(第3回)

○以上6件は原案のとおり可決

◆3年度一般会計予算

問 秩父ジオグラビティパークに関し、今後の整備計画は。

答 長さ500メートル程の規模が大きいジップラインが整備される計画があるが、それ以前にバンジージャンプが始まる計画があり、それぞれの準備が整い次第、順次開業する予定である。



秩父ジオグラビティパーク

問 遊休農地対策事業の中山間地域等直接支払事業補助金1027万3千円の内容は。

答 農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等の単位で農地を維持管理するもので、農業

生産活動を行う場合、面積に応じた額を支給し、その地域の畑など、周辺の草刈りや水路清掃などをし、荒廃しないように整備を行っていただくための制度である。

意見 市民がさまざまな課題に直面している中、生活道路の補修、田村地区の違法土砂たい積問題、コロナ禍による雇用の悪化および中小事業主や飲食店の経営悪化等、市民が本当に困っている課題に行き届いた予算になっていないため、本案に反対する。

○挙手多数により可決

◆3年度農業集落排水事業特別会計予算

◆3年度戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算

◆3年度公設地方卸売市場特別会計予算

◆3年度駐車場事業特別会計予算

○以上5件は原案のとおり可決

## 特別委員会の報告

### 議会改革特別委員会

2月17日、3月10日、15日に委員会を開催し、「議会の新型コロナウイルス感染症対策について」、「常任委員会等のオンライン会議について」、「今後の協議事項について」協議をした。

新型コロナウイルス感染症対策について、議会運営委員から付託された「議場での密を避ける行動指針」について協議した。「密を避けるため本会議の運営に支障がない範囲で離席し、控え室で待機することを議員および当局とも協力する。」「市議会先例集に掲載する。」「ことと取りまとめ、議会運営委員会に報告した。3月議会からこの対策がとられ、議場での密の解消を行う事ができた。

常任委員会等のオンライン会議について、今回は、前回と異なるビデオ会議アプリを使用してタブレットによる模擬オンライン会議を2回練習した。体験した委員の意見としては、「同一画面で会議参加者が全員見られるのでやりやすい。」「不都合は感じなかったが、慣れるにはもっと練習が必要。」「オンライン会議の途中で発言しない人は、マイクスイッチを切っておき、発言時にマイクを入れて発言したら、スムーズにできた。」等の意見が出された。委員会としては、オンライン会議の練習を積み重ね、議員全員でのオンライン会議ができるように、今後とも調査・研究していくことで意見が一致した。

今後の協議事項として、「常任委員会会議録の公開」、「常任委員会の会議中継」、「議会モニタリング制度」等の意見が出された。